

第五次柏市芸術文化振興計画

概要版

芸術文化の意義と計画の趣旨

市では、市民が豊かで文化的な生活を実感でき、自らが住むまちに愛着を持てる環境をつくること、また、次世代を担う子どもたちにとって多様な文化に触れる機会の提供を進めています。

市民の柏市の芸術文化に対する意識

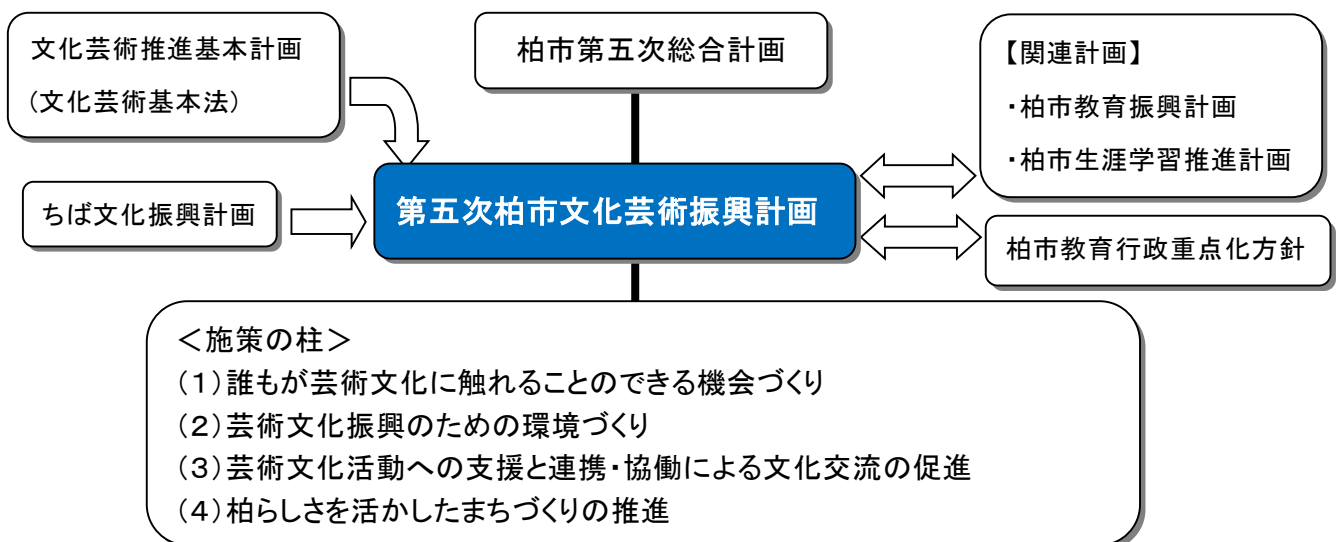
- ・ 柏市の文化活動が盛んだと回答した市民が3人に1人はいるものの、まだ、実感として感じられていない市民も多い
- ・ 市民の8割が芸術文化関連の鑑賞をしたいという回答がある一方で、その機会があまりないと感じている

令和元年度「芸術文化に関する市民意識調査」から引用

これらの結果から、「芸術文化」は美術館やコンサートホールで鑑賞したりするもの、という認識が強く、文化活動にもっと気軽に触れられる機会の提供により、芸術文化が多様なものであると実感してもらえる環境づくりが必要だと考えます。

本計画においては、これらを踏まえ、吹奏楽など柏の強みを活かした文化事業を今後も継続すると共に、様々な文化活動が市民にとって身近で、生活の中にあるものだというと感じてもらえる事業を取り組んでいくことを趣旨として計画を策定しました。

計画の位置付け



☆柏市第五次総合計画における芸術文化の位置付け

柏市第五次総合計画の重点目標の一つとして「地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち」が位置付けられています。分野別方針においては芸術文化分野は「地域のちから」の分野に位置付けられており、まちへの誇り、愛着、定着を高めるためには芸術文化の果たす役割は大きいととらえています。

計画の基本的な考え方

・市民 ー芸術文化活動の主役としてー

市民が、芸術文化を身近に感じ、芸術文化に親しむことが生活に潤いと気付きを与えるということを意識することで、主体的に鑑賞したり活動を行ったりすること、芸術の多様性の認識、更には互いを認め合う豊かで活気あるまちづくりがなされる柏へとつながることが望まれます。

・芸術文化団体等 ー多様な活動主体による文化振興ー

本市で行われている芸術文化活動は、学校関係を含めた芸術文化団体、NPO、ボランティアなど多様な活動主体によるさまざまな活動は、個別の主体的な芸術文化活動を中心に、互いの交流や市民ニーズとの連携により、本市の文化振興を活性化していくことが期待されます。

・市 ー行政の果たすべき役割ー

市内で開催される文化関連事業について情報を収集し、一人でも多くの市民に分かりやすく発信し、柏市文化振興に対する興味関心を惹くように積極的に活動するとともに、市民や多様な活動主体が行う文化芸術活動の自主性を尊重し、文化芸術団体と芸術文化活動に対する市民ニーズを支援してまいります。

芸術文化のさらなる振興の実現に向けて

<施策体系>

施策の柱	施策の展開
(1) 誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり	①芸術文化が身近にある環境づくり ・身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 ・芸術文化の情報提供の充実 ・デジタル画像を利用した発信の充実
	②子どもたちが芸術に親しむ機会づくり ・学校等における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供
(2) 芸術文化振興のための環境づくり	①市所蔵の美術工芸品の活用 ・作品の紹介・展示、また活用による柏の魅力の発信
	②市内施設の多面的な活用 ・市民芸術文化の発表の場の提供 ・文化財施設等を活用した事業の推進
(3) 芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進	①芸術文化活動を広めるための支援 ・芸術文化活動の担い手の育成 ・芸術文化事業を支える人材の育成
	②文化交流の促進 ・商業施設や民間団体との連携の促進
(4) 柏らしさを活かしたまちづくりの推進	①柏の強みとなっている芸術文化の充実 ・「音楽の街かしわ」の創出
	②日常生活に息づく小さな芸術文化（アート）を通じた地域づくりの推進 ・地域住民と身近な文化団体との連携の推進

施策の柱（１） 誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり

施策① 芸術文化が身近にある環境づくり

身近で、気軽に触れることのできるよう、文化会館のようなホールだけでなく、商業施設や街中で自然に音楽が聞こえてきたり、自然に美術品に目を留められるような環境づくりを推進します。

柏市の所蔵美術品や市主催の音楽イベント等を多くの方に知っていただき、興味をもっていただけるよう、年代や生活形態に応じた効果的な情報発信方法についても調査・研究を行います。

また、新しい生活様式の観点からも、市所蔵作品やイベントの動画配信等のデジタル画像を配信する方法での情報発信も推進します。

<主な事業>

- ・ 柏市文化祭
- ・ ららぽーと柏の葉ミュージックふえすた
- ・ 芸術鑑賞会
- ・ 柏de吹奏楽ば〜り〜（party）！♪
- ・ かしわミュージアム

施策② 子どもたちが芸術に親しむ機会づくり

幼児や児童生徒の鑑賞機会や体験機会の充実を図ります。芸術文化に興味がなかったり、触れる機会のない子どもたちにも学校内などで機会を提供し、興味のきっかけづくりにつながるよう推進します。

<主な事業>

- ・ 子ども向け芸術鑑賞会
- ・ かしわ塾
- ・ 中学校音楽鑑賞教室

施策の柱（２） 芸術文化振興のための環境づくり

施策① 市所蔵の美術工芸品の活用

市が所蔵している８００点に及び柏市ゆかりの美術作家の作品を適正に保存するとともに、柏市民ギャラリーや郷土資料展示室での企画展を行い、広く市内外に知ってもらえるよう効果的な活用を力を注いでまいります。

<主な事業>

- ・ 芹沢銈介作品展
- ・ 展示企画展

施策② 市内文化施設の多面的な活用

市民一人一人が芸術活動を自由に楽しめいただくと共にその発表を通じてより多くの市民が文化芸術を鑑賞できる施設の活用、そのための環境づくりに取り組んでまいります。

また、柏市内には数多くの文化財があります。今後も市の財産である文化財施設等との連携を図り、それらの施設等で文化イベントを開催するなど、芸術文化と歴史文化財の両面から柏の魅力に興味を持ってもらえる工夫をしてまいります。

柏市の誇る文化財施設や柏の隠れた名所と芸術イベントのコラボレーション（日本の伝統芸能や新たな芸術文化）をすることで、あらたな興味関心の開拓に相乗効果が期待できると考えています。

<主な事業>

- ・ 柏市文化祭
- ・ 旧吉田家住宅土間コンサート

施策の柱（３） 芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進

施策① 芸術文化活動を広めるための支援

若手アーティストが不特定多数の前で公演し、市民が鑑賞できる場の提供を行っていくと共に、文化事業を支える人材の育成として、市内で活動するイベント企画団体との連携やサポートを考えている市民が参加しやすい環境づくりを推進します。

＜主な事業＞

- ・かしわ塾
- ・美術ワークショップ
- ・中学校音楽鑑賞教室
- ・アウトリーチコンサート
- ・大人向け音楽ワークショップ

施策② 市内の多様な団体・施設等との交流の促進

普段訪れる商業施設や街中においてイベントが日常的にあふれ、市内外に広く発信されていることは、ジャンルを超えた団体の交流やコラボレーションがイベントの幅を広げることに繋がり、新たな関心が生まれることも期待できるため、様々な場面で活動する団体や施設とも積極的に連携の促進を図り、ホールや美術館に行かなくても身近に感じることでできる環境づくりを推進します。

＜主な事業＞

- ・ららぽーと柏の葉ミュージックふえすた
- ・柏de吹奏楽ば〜り〜（party）！♪

施策の柱（４） 柏らしさを活かしたまちづくりの推進

施策① 柏の強みとなっている芸術文化の充実

柏市には、もともと市立柏高等学校吹奏楽部の活躍を始めとする音楽活動が知られていた土台があり、全国大会で金賞を受賞するレベルの小中学校吹奏楽部も多く、その流れで大人になっても吹奏楽団に入団し活動する人も増えてきています。また、吹奏楽と他のジャンルの連携を促すなど、吹奏楽を原動力としながらも音楽全体として市内外にアピールできるよう「音楽の街かしわ」を推進していきます。新たな芸術ジャンルの普及の後押しをしながら、この柏の強みをさらに活かしていきます。

＜主な事業＞

- ・かしわ塾
- ・アウトリーチコンサート
- ・ららぽーと柏の葉ミュージックふえすた
- ・柏de吹奏楽ば〜り〜（party）！♪
- ・旧吉田家住宅土間コンサート

施策② 日常生活に息づく小さな芸術文化（アート）を通じた地域づくりの推進

「芸術文化」とはこういうものだという既存の価値観にとらわれずに、身近な日常にあるアートに対する気付きを促すことを推進します。

生活の中にある自分なりのアートを楽しみ創造する市民が増え、それをきっかけに人々が交流し、さらなる活性化を産むと共に、地域住民や文化活動団体が連携することで、アートを通じた人づくり・地域づくりの輪が広がることは自治体が行う芸術文化活動の意義の一つと考えます。生活の中にあるアートを楽しめる市民と環境が市内にあふれ、それが柏らしさや柏の地域づくりにつながるよう努めます。

＜主な事業＞

- ・JOBANアートライン